

完成図作成要領

1. 完成図は、発注（契約）工事ごとに工事完成時における状態を示したものであること。

2. 完成図原図

完成図原図は、工事受注者（現場代理人）及び監理事務所（総括責任者）の押印後、係長決裁を行う。

原設計図（発注図）を修正する場合は、CADデータやBIMデータ（以下、CADデータ等）

を修正し作成すること。（当該図面のみ）

やむを得ず原設計図（発注図）を完成図原図とする場合も、係長決裁を行う。

完成図電子データ、CADデータ等とも提出のこと。（完成図原図は、電子データ化後の提出は不要）

内容（電子データで提出する図面）

① 完成図原図（係長決裁時の出力はA3版普通紙）

原則として、設計図（発注図）のCADデータ等を修正すること。（設備工事では、施工図の修正でもよい。）

屋外配管（設備工事）については、埋設深さ・建物等目印よりの寸法を記入すること。

②施工図（建具、カーテンウォール、平面詳細、天井伏、外装の石、金属、エレベーター等）

③制御回路図（エレベーター、圧送給水システム等）

3. 製本図面

市確認後に完成図原図をA3版（設備工事では、A2版）で、普通紙背張製本（仕上がりA4版（設備工事では、A3版））したもの。

部数は、2部（新築住宅建設工事及び公園内施設工事は3部）とする。発注（契約）工事ごとに製本する。ただし、複数施設での工事の場合は、施設ごとに製本する。

仕様

①製本の色（発注工事ごと）

建築（緑・DB1503）[A・S・V]、電気（赤・DB2012）[E]、機械（青・DB2007）[J・K・M]、ガス（黄・DB2014）とする。[]内英字は工事種別です。

②表紙の文字

工事名称・完成年月・監理事務所名（自主監理は不要）・工事受注者名の順に印字する。

可能な場合は、背の部分に工事名称のみ印字する。

4. 施工図製本（建築工事）

専門工事ごとに背張製本を1部提出のこと。（原図と同サイズ）

5. 機器完成図（設備工事）

A4版チューブファイル（表紙の記入内容は製本図面に同じ）にて2部提出のこと。

内容

①提出した機材使用願による主要機器の完成図

②各種試験成績表

③各種検査合格書

④保証書

⑤保守に関する指導案内書（取扱説明書）

6. 完成図電子データ

①提出用メディア

CD-RW 2枚に発注（契約）ごとの全図面データを入れて提出する。

ラベルには、竣工年度（西暦）・工事名称を記入すること。

②仕様

i) スキャニング

完成図原図等からの直接スキャニングとする。

画像のサイズ縮小はしない（原寸）

解像度は400×400dpiとする。

ii) ラスターデータ形式

データ形式は、Tiff・白黒2値とする。

データは、圧縮形式の”G4”にて保存のこと。

iii) CADデータ等形式

CADデータ形式は、JWWもしくはSFC、DXFとする。

BIMデータ形式は、IFCおよびオリジナルデータとする。

iv) PDFデータ形式

③各工事図面のファイル

6桁(施設コード)ー4桁(竣工年度)英字1文字(工事種別)1桁(追加工事番号)1桁（発注区分）ー3桁(図面番号) からなる18桁（一含む）の英数半角文字でファイル名称を表す。

例) 901600-1999A01-012 （建築当初工事の図面番号12）

i) 施設コード

市から提示します。

ii) 竣工年度

西暦4桁

iii) 工事種別

A：建築（意匠）、E：電気設備、G：ガス設備、J：浄化槽設備、K：空調設備、
M：機械（衛生）設備、S：建築（構造）、V：エレベーター設備、X：他専門工事
（A～Vに該当しない工事がXです。）

iv) 追加工事番号

当初工事を"0"とし、各工事種別に年度を超えても連番とする。

v) 発注区分

同一施設・年度・工事種別で、棟別等の区分により2以上の分割発注があった場合で、通常は1です。

vi) 図面番号

番号は、工事種別毎に001より始める。（表紙がある場合は表紙が001です。）

添付図面等は、続きの連番をつける。

④工事種別ごとにExcelのファイル形式にて、図面ファイル名、図面名称、工事名称を入力し、同じ提出メディアに保存する。

目次のファイル名称は、図面ファイル名称から図面番号4桁（一を含む）を削除した名称とする。

例) 当初工事 901600-1999A01（③の例の場合）

追加工事 901600-2000A11（1回目の追加工事）

⑤工事種別が複数ある場合におけるフォルダ等の整理方法

工事種別（AからZまで）ごとにフォルダで分けること。

図面目次(EXCEL)ファイルについても工事種別ごとに分けること。

例) 一括発注工事 901600-1999A01 に電気設備工事、機械設備工事を含んでいる場合

901600-1999A01

901600-1999E01

901600-1999M01

の3個のフォルダに分けてそれぞれの工事種別ファイルを収納する。

⑥CADデータについても、③～⑤と同様に作成する。